

留学と進路

留学に積極的な学生が多い交流文化学科では、獨協大学から協定校へ派遣される交換留学、渡航先の大学を自由に選ぶ認定留学、1か月前後の語学研修を主とする短期留学などの多様なプログラムが盛んに活用されています。また、卒業後の進路として旅行会社、航空会社、ホテルなどのツーリズム産業へ就職する卒業生が例年3~4割いる一方、多くの卒業生が下記のさまざまな仕事に就いています。

..... 観光・ツーリズム

JR東日本/JR東海/日本航空(JAL)/全日本空輸(ANA)/ANAウイングス/ソラシドエア/ZIPAIR Tokyo/ANAエアポートサービス/日本交通/JTB/JTBグローバルマーケティング&トラベル/HIS/近畿日本ツーリスト/日本旅行/東武トップツアーズ/阪急交通社/アマン東京/星野リゾート/ザ・リッツ・カールトン/オークラ ニッコー ホテルマネジメント/横浜八景島/Plan-Do-See/オリエンタルランドほか

..... 物流・商社・メーカー

日本通運/DHL/郵船ロジスティクス/センコー/ヤマト運輸/SGHグローバル・ジャパン/近鉄エクスプレス/西日本鉄道/双日食料/エネテカ/花王グループ/マルハニチロ/日立製作所/京セラ/リコー/プラス/イトーキ/オカムラ/東洋水産/ユーハイム/文化シャッターほか

..... メディア・IT・教育

NHKグローバルメディアサービス/時事通信社/西日本新聞社/埼玉新聞社/新潟日報社/成美堂/楽天グループ/楽天モバイル/ZOZO/NTTネクシア/角川アスキー総合研究所/イオン/NOVA/ベルリッツ・ジャパン/高等学校教員(英語科)ほか

..... サービス・金融・流通・その他

読売広告社/電通デジタル/レバレッジ/マイナビ/アデコ/三井住友銀行/武蔵野銀行/群馬銀行/秋田銀行/日本政策金融公庫/城北信用金庫/明治安田生命保険/住友生命保険/日本生命保険/チュールリビ/大和証券/ニトリ/西友/コストコ ホールセール ジャパン/住友不動産/東武タウンソラマチ/イオンモール/東京商工リサーチ/日本郵便ほか

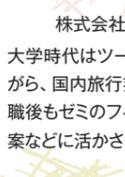
..... 公務員・団体職員

国家公務員(航空管制官ほか)/国立大学法人職員(東京大学・筑波大学)/私立大学法人職員(獨協大学・獨協医科大学・武蔵野大学ほか)/県職員(埼玉県・群馬県・栃木県・新潟県)/市町村職員(埼玉県・千葉県ほか)/日本年金機構/日本商工会議所ほか

卒業生の声



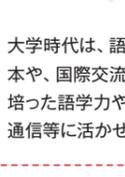
中里 麗 さん (2024年度卒)
リヨン・カトリック大学付属フランス語コース留学
さまざまな国や地域から集まる学生と過ごす毎日は素敵な発見の連続でした。出会いに恵まれ、今や世界中に友達や家族がいます。留学が人生を変えるきっかけとなりました。身につけた語学力を活かし、英語の教員免許に加えて、帰国後はフランス語の教員免許も取得することができました。



笹原 みなみ さん
株式会社JTB 学校・法人営業職 (2023年度卒)
大学時代はツーリズムを中心に学科の専門科目を学びながら、国内旅行業務取扱管理者の資格を取得しました。就職後もゼミのフィールドワークの経験が修学旅行の企画提案などに活かされています。



浅田 きらり さん
埼玉県庁職員 (2023年度卒)
ゼミでは、言語を通じて「身近で当たり前のこと」に自ら疑問を持ち、追究する力がつきました。この力は、どの異動先においても、新たな視点で多様な県民の声に応える県政を目指すために必要なものだと感じています。



小野 友加奈 さん
航空管制官 (2023年度卒)
大学時代は、語学はもちろんのこと、特に世界から見た日本や、国際交流について学び、研究していました。そこで培った語学力や多角的な視点が、仕事でもパイロットとの通信等に活かしていると思います。

ツーリズム・キャリアプログラム

2024年度からスタートした「ツーリズム・キャリア・プログラム」は、交流文化学科でのツーリズムの学びをさらに発展させるための取り組みです。指定の条件を満たした学生にはプログラム修了認定証が贈られます。その総仕上げとなる科目「ツーリズム・キャリア実習」では、ゲストスピーカーによる講演や学外での施設見学などが豊富に用意されており、キャリアと結びついた実践的な学びが展開されます。

ツーリズム・キャリアプログラム対象科目

| 学科基礎・学科専門科目(必修) | 交流文化概論(ツーリズム) ツーリズム・リテラシー論 |
|-----------------|--|
| 選択科目A(基幹) | 航空事業論 |
| | ホテル・クルーズ事業論 |
| | ツーリズム事業論 |
| | オルタナティブ・ツーリズム論 |
| 選択科目B(発展・各論) | English for Tourism and Hospitality I・II <small>ほか</small> |
| | 国際イベント・コンベンション論 |
| | 地域づくり論 |
| | フィールドワーク論 |
| 選択科目C(実習) | エスニック・ツーリズム論 |
| | English for Tourism and Hospitality III・IV <small>ほか</small> |
| | ツーリズム・キャリア実習 |

Q&A

Q 獨協大学の他学部・他学科との違いは何ですか？

A 2009年に英語学科から誕生した本学科では、実践的な英語を中心とする多言語の学習と、多彩な専門科目群の履修を融合させ、常に変化していく「移動の世紀」において卒業後も成長し続けることができる新たな想像力の養成を目指しています。

Q 他大学の観光学科と何が違いますか？

A 本学科は伝統ある獨協の外国語教育をベースに、いわゆるビジネスとしての観光に限定せず、国境を越えて多様に交流する文化を多角的に学ぶことで、広い視野と高度なコミュニケーション能力を修得する「語学の獨協」ならではの学科です。

獨協大学サイト



交流文化学科サイト



獨協大学外国語学部

交流文化学科

Department of Tourism and Transnational Studies



Find your Field and Shine!



DoTTS
Department of Tourism and Transnational Studies

語学の獨協 × 国境を越えた交流への探求 = 交流文化の学び

交流文化学科は「語学の獨協」の伝統ある外国語教育を基に、

ツーリズム、トランスナショナル文化、グローバル社会の3つの専門分野から、

国境を越えて交流する多様な出会いと文化を探求する学科です。

小規模学科ならではのアットホームな雰囲気と、

12人の専任教員によるきめ細やかな教育環境で、

多様な学生たちが「交流する文化」の学びを楽しんでいます。



高度な研究が導くツーリズム教育

訪日外国人旅行者数は、毎年のように史上最多を更新しています。インバウンドによる消費額は年間10兆円に迫る勢いで、今や自動車とならぶ「輸出」産業となっています。一方国内では、人口減少に悩む地域の活性化に観光は欠かせない存在です。観光への期待がますます高まるなか、交流文化学科では、キャリアにつながる実践的な科目はもちろん、高度な研究が導く「未来の観光(ツーリズム)」を探求できる「獨協ツーリズム」の教育に取り組んでいます。観光/ツーリズム産業の現場経験者のほか、国内外で活躍し、学会賞の受賞経験も豊富な教員が連携することで、ユニークな授業が多数用意されています。



交流文化とは・・・

「移動の世紀—Century of Mobility」と言われる21世紀、ヒトやモノの移動はさらに盛んになり、さまざまな交流を生み出しています。そこには海外旅行や国際親善のような「光」だけでなく、宗教や国家の対立や、ときに戦争のような「影」も生じています。こうした「交流する文化」を多角的に学ぶことで、旧来の固定的な視点から脱し、それぞれのfieldから自由に思考できる”21世紀の想像力”を養成することが、交流文化を学ぶ意義です。本学科は、ツーリズムや観光関連の仕事はもちろん、国際協力、国際教育、環境問題、メディア、海外大学院進学などに関心を持つ人に適した学びの場です。

充実の語学カリキュラム

主体的な「グローバル市民」になるために必要な語学力を身につける環境を提供しています。英語の授業では、特にアウトプットの機会が多く設けられています。また、英語に加えてもう1言語を修得する「英語プラス1」を目標とし、ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語から選んだ1言語を卒業までしっかり学べるカリキュラムになっています。

多彩な授業とゼミ

ツーリズムにトランスナショナル文化とグローバル社会を加えた3部門の専門科目では、海外での調査研究や留学などの経験豊富な専任教員が、あなたの学びをサポートします。また1年次の基礎演習から3・4年次の演習(ゼミ)までの少人数制クラスにより面倒見の良い教育環境を実現しています。

私にとっての交流文化

玉井ゼミ

梅宮 咲良 タヒール さん

私の所属する「グローバル理解教育」のゼミでは、各学生の興味に応じた課題を設定し、主に当事者の立場から考える参加体験型の授業実践を行います。そのため、学べるテーマは移民、発展途上国、オセアニア、多文化理解、ファストファッションなど、学生の数だけ多岐にわたります。個人の研究を深めながらも、多様な知識を教授や他のゼミ生からも学び続けています。



学生サークル”Beyond”

樫山 祥佳 さん、山城 彩音 さん

交流文化学科の学生団体Beyondでは、学科を紹介する冊子Voyagersの作成や、オープンキャンパスでの来学者とのコミュニケーションのほか、草加市の国際交流イベント”国際村一番地”で研究発表をするなど、私たちの学科を盛り上げる活動をしています。在学生同士だけでなく、未来の獨協生との出会いの場を広げていることを実感できます。



ジェンダー研究

大野 恵理 専任講師

私たちが暮らす社会では、人やモノがトランスナショナルに移動することが日常になっています。この「移動」Mobilityを切り口に、移民の仕事や家庭、そして共生社会のあり方を、Genderジェンダーの視点から考えることが私のfieldです。ゼミでは教室での活動にとどまらず、日帰りフィールドトリップやさまざまなイベントに参加し、実際に現場で見て感じることも大切にしています。



ツーリズム研究

鈴木 涼太郎 教授

観光研究を専門とする私は、大学卒業後に大手旅行会社で勤務した経験と、その後大学院で観光学の博士号を取得した経験を活かし、観光の現場と学問を架橋して未来の観光のあり方を考える教育と研究に取り組んでいます。観光研究は新しい学問領域ですが、それだけに未知の可能性を秘めているとても魅力的なfieldです。



人類学

須永 和博 教授

タイの少数民族カレンの人々のあいだでの調査を原点に、東南アジアや日本各地を歩き続ける私は、現場(field)で感じた自らの体験を基礎にして学問的に考察するフィールドワークを大切にしています。ゼミ合宿では北海道や大阪などを訪れ、卒業論文では各自が選んだfieldに入り、自ら感じ思考したことをまとめた論集を制作しています。



英語教育

N. H. ジョスト 教授

Part of my philosophy as an English language instructor and researcher is to make sure students use English as they learn. To put it another way, students are not learning 'about' English, but rather they are learning 'through' English. As a result of this, students become more confident and fluent speakers of English. In our department, you will certainly find unique and interesting language courses to suit your needs. You will be able to realize your potential in your chosen field!



学生の声

教員の声